

第12回

公益財団法人河川財団 名古屋研究発表会

—河川財団研究発表並びに河川基金助成事業成果発表—

日時 H30 11/28 **水**
13:00 ~ 17:30

交通 ●地下鉄桜通線「丸の内」駅4番出口より徒歩6分
●地下鉄鶴舞線「丸の内」駅1番出口より徒歩6分
●地下鉄名城線「市役所」駅4番出口より徒歩8分

会場 名古屋銀行協会会館 2階 201号室
名古屋市中区丸の内2丁目4番2号 TEL.052-231-8311

プログラム

- 13:00 開会・主催者挨拶……………名古屋事務所長 山内 博
- 13:05 来賓挨拶……………中部地方整備局 河川部 河川調査官 尾藤 文人
- 講 演
- 13:10 「台風や集中豪雨などのメカニズムと地球温暖化に伴う将来変化」
……………名古屋大学 宇宙地球環境研究所
附属統合データサイエンスセンター教授 理学博士 坪木 和久
- 14:10 休憩 — 10分
- 研 究 発 表
- 14:20 「産官学による循環型社会の展開」
～地域資源活用と連携した河川維持管理の試み～
……………河川総合研究所 上席研究員 山本 嘉昭
- 14:50 「堤防植生管理における植物成長調整剤・除草剤活用の事例報告」
……………河川総合研究所 主任研究員 青山 治彦
- 15:20 「河川教育事業における防災教育への取組事例」
……………名古屋事務所 小野 正雄
- 15:50 休憩 — 10分
- 基金助成事業成果発表
- 16:00 「魚種ごとの生息量を決定づける環境要因の抽出」
～木曾三川広域データを用いた事例～
……………土木研究所(自然共生研究センター) 専門研究員 末吉 正尚
- 16:40 「守れ!ふるさとのヒダサンショウウオ」
……………山県市立高富中学校(現 鶯谷高校) 三宅 遥香
山県市立高富中学校 教諭 福田 英治
- 17:20 全体質疑応答
- 17:30 閉 会



講演者プロフィール 名古屋大学宇宙地球環境研究所 附属統合データサイエンスセンター 教授 **坪木 和久** (つばき かずひさ)

●プロフィール

略 歴：1985年 北海道大学理学部卒業
1990年 理学博士の学位取得
日本学術振興会特別研究員、東京大学海洋研究所助手、名古屋大学大気水圏科学研究所助教授
名古屋大学地球水循環研究センター助教授／准教授を経て2012年より、名古屋大学地球水循環研究センター教授
2015年10月より組織統合に伴い名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授 現在に至る。
主な研究：・地球温暖化に伴う台風の将来変化 ・台風の航空機観測のプロジェクト推進
2017年9月 NHKスペシャル「MEGA CRISIS 巨大危機Ⅱ」などの報道番組に出演。

定員

150名 定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

参加費

無料

申込方法参加ご希望の方は下記の申込書に必要事項をご記入の上、
11月16日(金)までにFAX又は、メールでお申し込み下さい。**問い合わせ先**(公財)河川財団 名古屋事務所 [担当:奥田]
TEL.052-388-7891 FAX.052-388-7918**第12回 河川財団 名古屋研究発表会
参加申込書(送信様式)****052-388-7918**までFAX

又は、

okuda-y@nagoya.kasen.or.jp

までメールして下さい。

連絡先

会社名 団体名等			
住所	〒 -		
TEL	()	FAX	()
mail			

参加者氏名	所属	参加者氏名	所属
(参加代表者氏名)			

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報 は本研究発表会の運営管理のみに使用します。

※申込書は当財団のホームページの「TOP・お知らせ」からダウンロードできます。

<http://www.kasen.or.jp/nagoya/>